

「安全・安心な食のまち・さっぽろ」の実現に向けた提言書〈概要版〉

提言の背景と目的

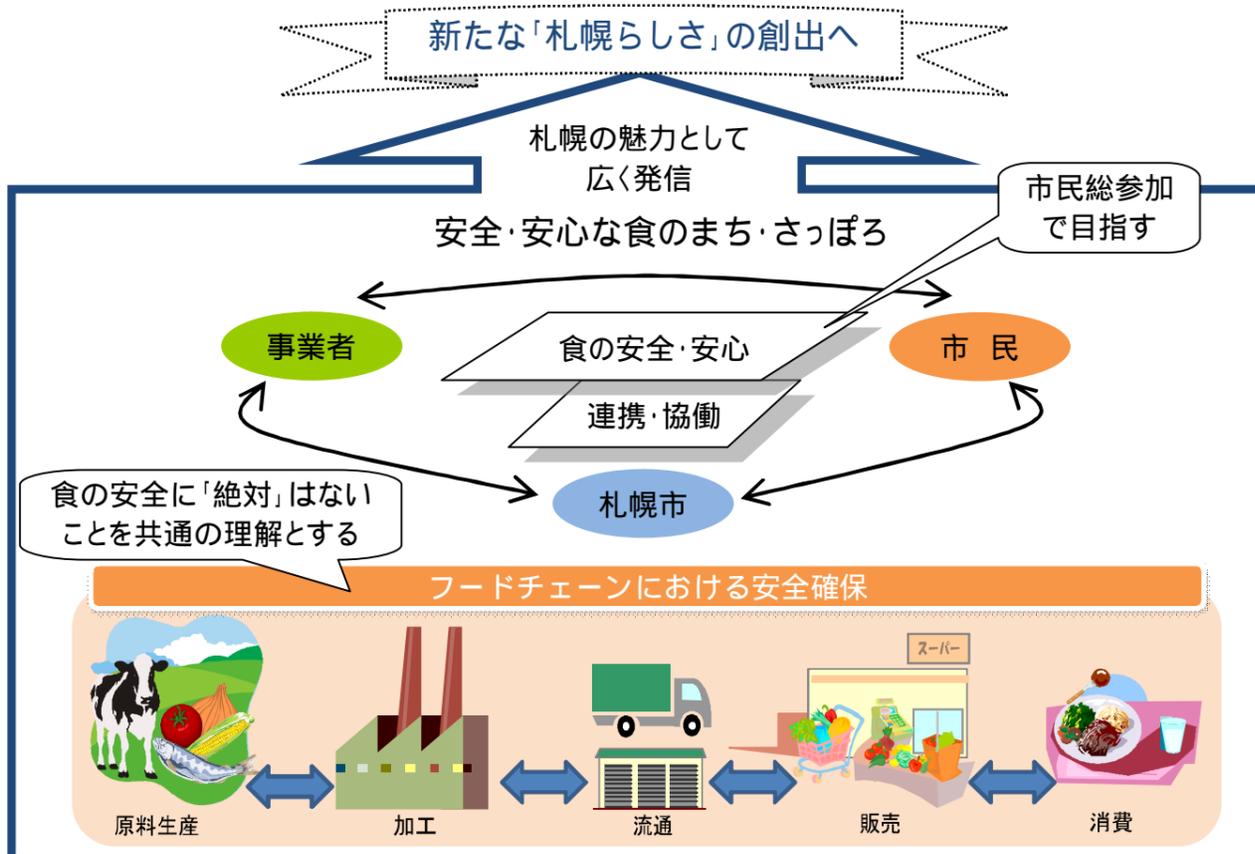
食は生命の基本であり、札幌市は、従来から市民の健康を守るため、食品を取扱う事業者への監視指導を中心に、食の安全確保に関する施策を進めてきた。

食品流通の広域化などにより、食品が市民の手元へ届くまでの過程がわかりづらくなっているなか、食の安全・安心を脅かす事件が国内外で相次いだこともあり、現在食品に対して不安を感じる市民は少なくない。したがって札幌市には今、食の安全確保はもとより、市民の信頼確保にも目を向けた施策の推進が強く求められている。また、大消費地かつ観光地である札幌において、食の安全と信頼の確保は、まちづくりの上で大変重要な基盤でもある。

このような状況を踏まえ、「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進委員会」では、食の安全と安心に関する施策をより一層推進するため、中長期的な視点に立って今後の施策の方向性について提言する。

将来ビジョン

だれもが、食の安全について意識を持って行動するまち
信頼と安心をはぐくみ「食の安全・安心」を目指す、創造性と発信力のあるまち



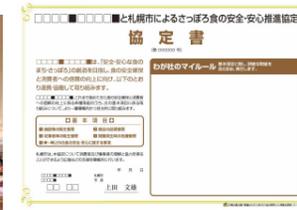
将来ビジョンの実現に向けて

1 より一層の食の安全と信頼の確保

- 事業者に対する監視・指導 **科学的**
施設の立入り、食品の検査、講習会など
- 事業者の自主的な取組促進 **透明性**
意識の高い事業者の拡大
・さっぽろ食の安全・安心推進協定
事業者への衛生管理ツールの提供
・札幌市食品衛生管理認定制度



大型スーパーでの監視



自主ルールが記載される協定書

“規制”と“連携・協働”の両輪

2 情報の共有と市民の参加

- 情報発信と相互理解
行政、事業者からの情報発信 **双方向**
現場での意見交換、相互理解
・さっぽろ食の安全・安心市民交流事業
- 「安全・安心な食のまち・さっぽろ」の担い手づくり **協働**
人材育成制度の創設
・(仮)食の安全・安心モニター事業



キッチンメール



市民交流事業

市民とともに

3 経済・観光の活性化への寄与

- 食の関連施策との連携 **波及効果**
「安全・安心」の付加価値、相乗効果
・(仮)食の安全・安心フェア
- 地場・地域企業との連携・協働
事業者の横の連携、市民や観光客への発信

施策の推進体制

- 基本計画等の策定
- 外部委員会による点検・評価
- 庁内連絡会議の常設